

授業概要

人間関係の基礎を培う乳幼児期において、乳幼児が生活するそれぞれの場で人とのかかわりがどのように育っていくのか、乳幼児の発達の特徴を踏まえた、人とのかかわりを育てていくのか、乳幼児の発達の特徴を踏まえた、人とのかかわりを育てる保育者の役割と援助について指導する。

子ども達の「人とかかわる力」を育てるための集団づくりについて、実践例や映像等を使用しながら考えを深め、乳幼児期の人間関係の発達特性をふまえた保育実践のあり方を指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーション、領域「人間関係」とは
第2回	子どもの遊びと人間関係
第3回	領域「人間関係」のねらいと内容
第4回	乳幼児期における人間関係の発達
第5回	人とかかわりを育てる保育教材
第6回	子どもの人間関係を育む保育者の役割
第7回	子どもの言葉と人間関係
第8回	子どもの人間関係を育む保育実践①保育教材と子ども
第9回	子どもの人間関係を育む保育実践②子どもへの声かけ
第10回	子どもの人間関係を育む保育実践③子どもとのかかわり
第11回	子どもを取り巻く地域や高齢者との交流
第12回	保育者同士の人間関係
第13回	保育者と保護者の人間関係
第14回	保護者へのかかわり(クラス便りの作成)
第15回	子どもの人間関係をめぐる現代的課題
第16回	学期末定期試験

到達目標

一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い、かかわっていくことはどういうことかを捉え、人とかかわる力を養う「人間関係」の領域を理解できる

保育内容領域「人間関係」について構造的にとらえた上で、保育内容をいかに構成・展開していくか理解を深める保育実践力を養うことができる

幼児の「人とかかわる力」がどのように育んでいくのかを理解し、情意的体験によって保育者にふさわしい人格の陶冶することができる。

履修上の注意

演習形式で実施する。主体的に学ぶ姿勢のもと、保育への課題意識をもって授業に臨むこと。

予習復習

予習として次回の授業を行う箇所の教科書を読むこと。

復習としては、日頃から保育の関連ニュースに関心を持ち、授業で学んだことを自分の言葉でまとめておくこと。

評価方法

授業態度 10%、保育実践の発表 40%、提出物 10%、定期試験 40%から総合的に評価する。

テキスト

浅見均「実践から学ぶ子どもと人間関係」大学図書出版 2019年 ISBN978-4-907116-93-9